

2025 年 9 月 12 日

各位

株式会社北洋銀行

有限会社熊谷解体工業様と 「ポジティブインパクトファイナンス」の契約を締結しました

北洋銀行(取締役頭取 津山 博恒)は、有限会社熊谷解体工業様(北海道室蘭市、代表取締役:伊藤 寛司様)と「ポジティブインパクトファイナンス」(以下、本ファイナンス)の契約を締結しました。

本ファイナンスは、企業活動が環境・社会・経済にもたらすインパクトを包括的に分析・評価し、ネガティブインパクトの緩和とポジティブインパクトの拡大について目標を設定し、その実現に向けた継続的な対話や支援を重視することでSDGs達成に貢献していく金融手法です。当行は、株式会社格付投資情報センター様から国連環境計画金融イニシアチブが提唱するポジティブインパクト金融原則に適合する「ポジティブインパクトファイナンス実施体制」のセカンドオピニオン^{*1}を得ており、同実施体制のもと「ポジティブインパクトファイナンス評価書」^{*2}を発行しています。

本件では、コア・インパクトを「解体事業と産業廃棄物処理業を通じた環境負荷低減」および「新たなサービスによるインフラ構築と地域活性化への貢献」と特定し、建築物の解体から産業廃棄物の収集運搬及びリサイクルを通じた環境負荷低減や、車両整備を通じた地域課題の解決に取り組むことで、持続可能な社会に向けたインパクト拡大を目指している点などを評価させていただいています。

当行は、今後もほくようサステナブルファイナンス等を通じて環境・社会課題の解決を図るお客さまやプロジェクトを積極的に支援し、脱炭素社会の実現やSDGsの達成に貢献してまいります。

※1 「ポジティブインパクト実施体制」のセカンドオピニオンは以下をご参照ください。

https://www.r-i.co.jp/news_release_suf/2022/09/news_release_suf_20220928_jpn_3.pdf

※2 「ポジティブインパクトファイナンス評価書」は別紙をご参照ください。

記

【有限会社熊谷解体工業様の概要】

本社所在地	北海道室蘭市本輪西町3丁目16番29号
代 表 者	伊藤 寛司様
設 立	1980 年 4 月
業 種	建設業(解体業)、産業廃棄物収集運搬および処理業など

【契約記念の様子】



右:有限会社熊谷解体工業
代表取締役 伊藤 寛司 様

左:北洋銀行
中島町支店 支店長 山上 昌徳

以 上

《北洋銀行グループ サステナビリティ方針》

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。

有限会社熊谷解体工業
ポジティブインパクトファイナンス評価書

発行日：2025 年 9 月 12 日



北洋銀行ならびに株式会社北海道共創パートナーズは、有限会社熊谷解体工業(以下、「熊谷解体工業」または「当社」)に対してポジティブインパクトファイナンス(以下、「PIF」)を実施するにあたって、当社の事業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト(ポジティブインパクト/ネガティブインパクト)を分析・評価した。

この分析・評価は、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が提唱した PIF 原則および PIF 実施ガイド(モデル・フレームワーク)、ESG 金融ハイレベル・パネルにおいてポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、北洋銀行が独自に開発した評価体系に基づいている。

目次

1. 企業概要	3
(1)基本情報	3
(2)経営理念	3
(3)事業概要	4
(4)サステナビリティ方針と活動	7
2. インパクトの特定	13
(1)バリューチェーン分析	13
(2)インパクトレーダーによるマッピング	13
(3)インパクトニーズの確認	17
(4)当行が認識する社会課題との整合性	22
3. インパクトの評価	23
4. インパクトのモニタリング	24
5. 情報開示	25

1. 企業概要

(1) 基本情報

熊谷解体工業は、北海道室蘭市に本社を置き、主に解体工事業や産業廃棄物の収集運搬および処理業を行っている企業である。

企 業 名	有限会社熊谷解体工業	
所 在 地	北海道室蘭市本輪西町 3 丁目 16 番 29 号	
代 表 者 名	代表取締役 伊藤 寛司	
設 立	1980 年 4 月	
従 業 員	61 名(2025 年 3 月末時点) ※役員等含む	
資 本 金	20 百万円	
売 上 高	1,115 百万円(2025 年 3 月期)	
事 業 内 容	・解体工事業 ・土木工事業(とび・土木工事等) ・建築工事業(大工工事等) ・建設サービス業(アスベスト調査等) ・産業廃棄物の収集運搬および処理業(リサイクル等中間処理) ・運送業 ・車両整備業	
許 認 可	・特定建設業許可 ・産業廃棄物収集運搬業許可 ・産業廃棄物処分業許可 ・一般貨物自動車運送業	
営 業 拠 点	【本社】 北海道室蘭市本輪西町 3 丁目 16 番 29 号 【リサイクルセンター】 北海道室蘭市神代町 28 番地 2	
関 連 会 社	株式会社アンフィニ(コンサルティング業、測量業、不動産業)	
沿 革	1983 年 2000 年 2016 年 2022 年 2024 年	有限会社熊谷解体工業設立 伊藤寛司氏が代表取締役に就任 測量、不動産、開発コンサルティングを行う株式会社アンフィニ(北海道室蘭市)を設立 産業廃棄物処分業の許認可を取得しリサイクル事業に参入 北海道室蘭市神代町に中間処理施設を建設 現在の所在地に移転 一般貨物自動車運送業の許認可を取得

(2) 経営理念

熊谷解体工業は、「DREAM SUPPORT」を経営理念としている。当社は、新たに生まれ変わる環境の創造には「Scrap and build」、つまり解体工事が再生(夢・DREAM)への第一歩と考えている。長年にわたり培ってきた経験、そして技術を兼ね備えたプロ集団として、お客様の立場になって物事を捉え、満足度を第一に考えて「安心・安全・丁寧」をモットーに、全力でお客様の夢のお手伝い(DREAM SUPPORT)に取り組んでいくことを使命としている。

経営理念

DREAM SUPPORT

Demolition
REviral

AMain

解体から再生まで、
全力でお手伝い致します

(3)事業概要

A. 事業内容

熊谷解体工業は、解体工事をメインとした土木・建築工事などの建設関連事業、産業廃棄物収集運搬業および処理事業(リサイクルを含めた中間・最終処理)、運送業および車両整備業を展開している。主な業務内容は以下のとおりである。

a. 建設関連事業

解体業を主業務としたコア事業である。木造建築や鉄骨造、鉄筋コンクリート造等の戸建住宅・集合住宅・大型商業施設、及び公共施設の解体・改修工事を行っている。営業エリアは本社のある北海道西胆振地区をメインとしており、大手や地場建設業者を対象に安定した販路を形成している。

当社の強みは解体工事を一貫して受注できる運営体制および技術力である。建物の解体工事は、現場によって有害物質である「ポリ塩化ビニル」や「アスベスト」が建材に使用されている場合がある。通常、これらの調査は社内の専門部署が担当するが、当社は解体作業を行う従業員が調査を担うことができ、作業前の徹底した調査、分析から事前調査報告書の作成・提案、撤去施工を一貫して対応できる体制を構築している。同時に、解体時は事前の足場組みや、埃の飛散を防ぐ養生シートの設置、解体工事終了後の足場や養生シートの撤去、清掃業務を行うが、これらの作業は、通常、解体業者では対応しないものの、当社では一貫して受注。これにより、外部とのスケジュール調整の必要がなくなることに加え、各工程をオーバーラップさせて推進できるため、全体のスケジュール管理が容易となることで工期も短縮でき、効率的な解体工事を可能としている。加えて、解体工事に必要な重機や装備、大型トラック等を保有し、あらゆる規模の解体工事にも対応している。

また、当社では環境調査・メンテナンス業務にも注力し、コンクリート構造物のメンテナンスも対応。土木構造物や建築構造物の補修・補強業務を受注しており、これら業務については、北海道ではまだ珍しい「Sto 乾式吹付工法 ※1」、「Sto ひび割れ補修システム ※2」、「Sto 表面保護システム ※3」などを採用し、社会インフラの長期延命対応に貢献している。

※1 Sto 乾式吹付工法

世界のコンクリート補修技術先進国のドイツで開発され、ヨーロッパで長年に渡り多くの実績があるプレミクスポリマーセメントモルタルを用いた乾式吹付け工法。コンクリート構造物(橋・トンネル・C-BOX・ダム・下水道等)の断面修復工事に適用できる

※2 Sto ひび割れ補修システム

ひび割れ部分周辺にパッカーを打ち込み、内部に樹脂を高圧で注入することによって補修を行う工法。0.1mm 程度の微細なクラック(ひび割れや亀裂)に注入できるエポキシ樹脂や漏水がある場所や水中にあるクラックに対応できるポリウレタン樹脂を活用している

※3 Sto 表面保護システム

シラン系表面含浸材を用いて、塩害・凍害・中性化等による劣化を抑制する工法

【解体工事の様子】



【コンクリート補修工事の様子】



【出典：熊谷解体工業 提供資料より】

【保有機械】

機種	台数	機種	台数
各種バックホウ	16 台	各種ダンプ	9 台
ホイールローダー	1 台	アームロール	1 台
ピラニアバケット	14 台	ユニック	3 台
圧砕機	11 台	コンクリート破碎機	1 機
鉄骨カッター	1 台	木材破碎機	1 機
ブレーカー	7 台	畳裁断機	1 機
大型トレーラー	4 台	スクリーン(篩い機)	1 機



▲バックホウ



▲大型車両



▲破碎機

【出典：熊谷解体工業 提供資料より】

b. 産業廃棄物収集運搬および処理事業

当社が受注した建物の解体現場で発生した産業廃棄物の運搬を行っている。従前は外部の産業廃棄物処理業者によって廃棄していたが、2022年6月に新規事業として産業廃棄物中間処理施設を開設。最新の設備により、「コンクリートがら」は砂利や骨材として、「廃木材」はバイオマス発電の燃料として再生。安定した品質の確保をしつつ、解体材の徹底した分別・リサイクルに取り組んでいる。

将来的には、自社の焼却炉を設置することで埋立処分量の削減と衛生的なごみ処理の実現を図るとともに、バイオマス発電事業への参入も検討。産業廃棄物の有効利用率の向上や社会のニーズである廃棄物の削減に努め、「夢の100%リサイクル」の実現を目指している。

【リサイクルセンターの様子】



【出典：熊谷解体工業 提供資料より】

c. 運送業および車両整備業

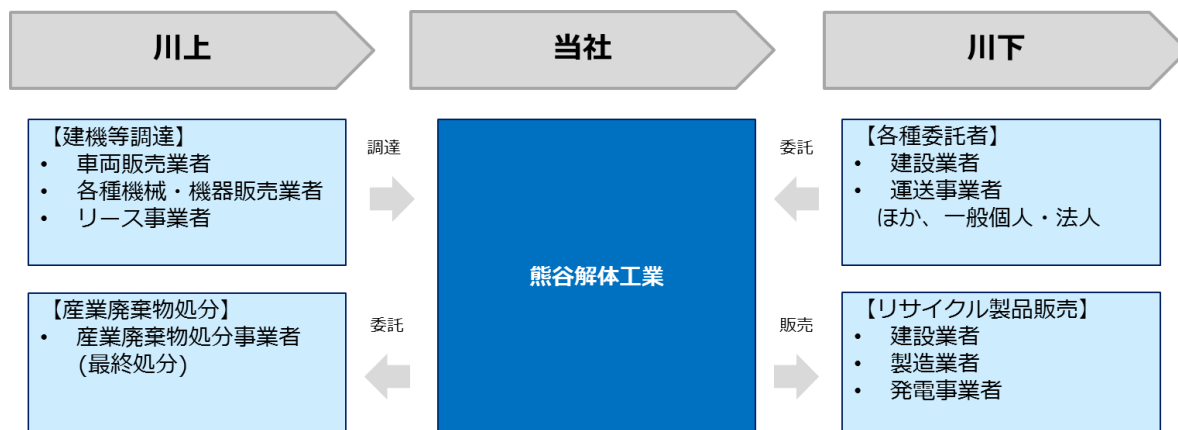
トレーラーやダンプなどの大型車両により、近隣エリアのお客様に対し物流サービスを提供している。胆振エリアでは建設需要が増加する一方、ドライバー不足等により物流サービスの供給が不足しており、総合リース事業者に対する建機輸送や建設事業者に対する砂利輸送など、当社が物流サービスを提供することで、地域の事業者を下支えしている。

また、今後は大型車両に特化した整備事業への参入を計画。当社では、大型トラックや建設機械などのメンテナンスについて内製化を進めているが、上記同様、地域における車両整備人材が不足している中、他社の車両の受け入れを行っていく計画である。

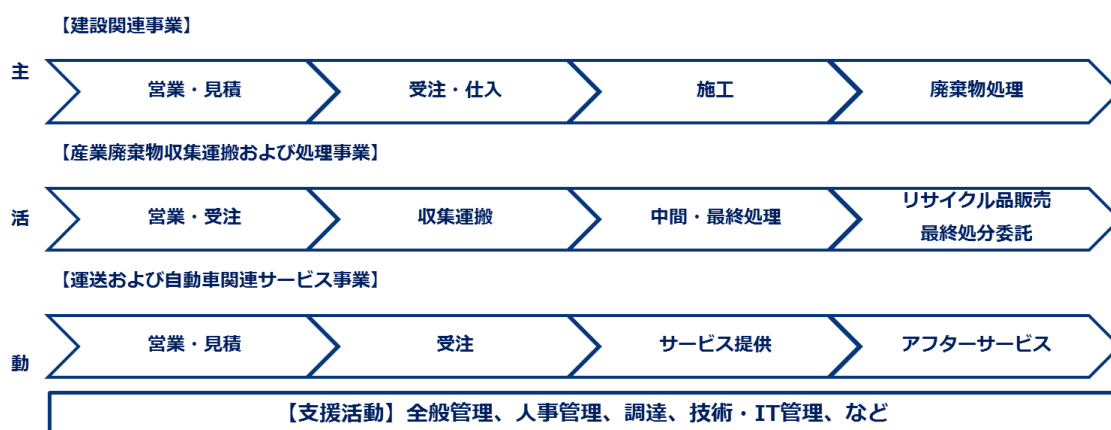
B. ビジネス俯瞰図/バリューチェーン

当社のビジネス俯瞰図とバリューチェーンは、以下の図で示される。

【ビジネス俯瞰図】



【バリューチェーン】



【出典：熊谷解体工業へのヒアリングにより北洋銀行作成】

(4) サステナビリティ方針と活動

A. サステナビリティに関する方針

熊谷解体工業では、「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同するとともに、事業活動を通じて SDGs の達成に貢献するため、2024 年 2 月に「SDGs 宣言」を策定している。この宣言では、経営理念に整合する「事業活動を通じた貢献」、「働きやすい職場環境の整備」、「環境への配慮」、「地域貢献」の 4 つのテーマを設け、環境・社会・経済に好影響を与える様々なサステナビリティ活動を行い、持続可能な社会の実現と自社の企業価値向上の両立を目指している。

【SDGs 宣言書】

2024年2月20日
 有限会社熊谷解体工業
 代表取締役 伊藤 寛司



SDGs 宣言書

当社は国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、
SDGsの達成に向けた取組を行っていくことを宣言します。

SDGsの達成に向けた取組み

事業活動を通じた貢献

建物の解体工事や構造物のメンテナンス事業を通じ、新たな環境の創造を提供し続けることで持続可能なまちづくりに貢献致します。また、建物のメンテナンス事業では様々な最新工法を積極的に取り入れることで多くの技術革新に挑戦します。

◆具体的な取組

- ・工事の品質、安全面への配慮
- ・スクラップアンドビルドによる街の再生
- ・メンテナンス事業による建物の長寿命化




環境への配慮

廃棄物に秘められた可能性を追求し、資源としての有効利用率の向上に努め、循環型社会の構築に貢献します。また、省エネ設備等の積極的導入をはじめとした社内外の省エネ活動により、地球環境に配慮した経営を実践いたします。

◆具体的な取組

- ・廃棄物の100%リサイクルへの取組み
- ・LEDへの交換等社内省エネの取組み
- ・グリーン調達の実施






働きやすい職場環境の整備

多様な人材が安全で健康かつ安心して働ける環境を整備します。また、人材育成に関しても積極的に取り組んで参ります。

◆具体的な取組

- ・コンプライアンスの徹底
- ・ハラスメントの撲滅
- ・資格取得費用負担による教育制度の充実







地域貢献

地域に根差した企業として、地域社会への貢献を使命と認識し、地域から愛される企業を目指して参ります。また、地域雇用の創出に努め、よりよい地域社会の構築に貢献します。

◆具体的な取組

- ・自治体や商工会との積極的な連携
- ・地域への寄付活動やイベントへの協賛
- ・地域人材の積極雇用



SDGsとは

「SDGs」(Sustainable Development Goals)とは、持続可能な国際社会の実現のため、2030年までの目標を国連が定めたものです。世界中でSDGsへの取組、ESG投資、エシカル消費等持続可能な社会実現に向けた取組が広がっています。



【出典：熊谷解体工業 提供資料より】

B. サステナビリティ活動

a. 環境面

① 廃棄物の再資源化に向けた取り組み

当社は、2022年6月に産業廃棄物中間処理施設を開設。建設廃棄物等を再生骨材や木質バイオマス発電の燃料として再生させることで、循環型社会の形成に取り組んでいる。

今後は、自社の焼却炉を設置することで埋立処分量の削減と衛生的なごみ処理の実現を図るとともに、バイオマス発電事業への参入も検討し、産業廃棄物の有効利用率の向上や社会の二一ズである廃棄物の削減に努めていく。

【リサイクル製品】



▲コンクリート再生骨材



▲木材チップ

【出典：熊谷解体工業 提供資料より】

② 建築物の長寿命化に向けた取り組み

当社はコンクリート構造物のメンテナンスも対応。土木構造物や建築構造物の補修・補強業務を受注しており、「Sto 乾式吹付工法」など建築物の長寿命化につながる取り組みを実施し、社会インフラの長寿命化に貢献している。

③ アスベストの飛散防止による大気汚染の抑制

建築物・工作物の解体・改造・補修作業には、アスベスト含有建材の調査やアスベスト飛散防止対策などを遵守することが義務付けられている。当社では、解体作業を行う自社従業員がアスベストに関する調査を担えるため、作業前に徹底して調査を実施することで、作業時のリスク低減に加え、大気中に飛散しないような防止対策を行っている。

【アスベスト調査業務】



【出典：熊谷解体工業 提供資料より】

④ 事業活動上の環境負荷低減

当社では事業活動により自社が与える環境負荷の低減に取り組む。具体的には、事務所における照明の LED 化や保有する車両の低燃費化をすすめることで CO2 排出量を削減している。また、事務所の DX 化を推進することで、紙の使用量削減に取り組んでいる。

今後は、LED 化の推進に加え、環境負荷を低減する営業車両の導入を行っていく。

b. 社会面

① 従業員の働きがいにつながる取り組み

当社は、担当業務の内容や資格の取得状況に応じた公平な人事考課を行い給与に反映させている。具体的には年に一度の人事考課において、従業員一人ひとりと経営者や上司が面談し、スキル、業務内容、仕事の取り組み状況などのコミュニケーションを行い、納得感のある人事考課を行っている。

今後は、一人当たりの平均給与を増加させ、従業員のモチベーションの向上や採用面での優位性を高めていく。

② 多様な働き方とワーク・ライフ・バランスの推進

当社は、働き方改革関連法を遵守していることに加え、福利厚生充実、社内の業務フローの改善を通じて、有給休暇の取得率向上や平均時間外労働時間の削減に取り組んでいる。今後も産業廃棄物中間処理場における選別機の導入など、可能な範囲での機械化・効率化をすすめ、労働環境の改善をすすめていく。

③ 人材育成の取り組み

当社は、従業員のスキルアップをサポートしている。従業員の育成については、OJTをベースに行うとともに、新人研修やリーダー研修など、必要に応じ研修を実施している。また、資格取得に際する受験費や研修費等をすべて会社で負担するなど、会社全体の生産性向上とレベルアップを目指し、全従業員の業務スキルの標準化及び向上を図っている。

【主な資格保有者】

資格名	人数	資格名	人数
一級建築士	1名	一級管工事施工管理技士	1名
二級建築士	2名	一級造園施工管理技士	1名
一級建築施工管理技士	3名	解体工事施工技士	2名
二級建築施工管理技士	3名	大型自動車免許	17名
一級土木施工管理技士	4名	牽引免許	10名
二級土木施工管理技士	4名	大型特殊免許	12名
二級建設機械施工管理技士	2名	-	-

【海外研修の様子】



【出典：熊谷解体工業提供資料より】

④ 従業員の健康に対する取り組み

当社では、全ての従業員に対して健康診断を実施するほか、産業医による健康管理を行っている。また、労働環境の改善についても、月1回の安全衛生委員会の開催や現場パトロールの実施による職場環境の整備に取組み、労働災害の減少を図っている。今後は、従業員は地域のスポーツセンターを気軽に利用できる制度を構築し、従業員のさらなる健康増進に取り組んでいく。

【労働安全に関する勉強会の風景】



【出典：熊谷解体工業提供資料より】

⑤ ダイバーシティの推進

当社では、多様な人材の活用を推進しており、性別や年齢等、従業員全員が差別のない環境で生き生きと働けるように職場づくりを進めている。具体的な取り組みとしては、産休や育休制度の導入、定年後の再雇用制度の策定、地元高校生を対象としたインターンシップなどを実施。また、外国人材の採用も進めているが、きめ細やかな技術研修などによるサポートを行う。

今後も、女性従業員の活躍推進のほか、障がいや外国人、シニア層等の雇用も推進し、従業員が安心して就労できる環境整備に向けた取組みを引き続き図っていく。

【ダイバーシティの推進】



▲インドネシアでの採用面接の様子



▲インターンシップの様子

【出典：熊谷解体工業提供資料より】

c. 経済面

① 地域事業者の下支えとなる事業の取り組み

当社は、物流サービスの提供により、地域におけるドライバー不足の一役を担っている。取引先は建設業者やリース業者など地域のインフラを構築する事業者であり、間接的にインフラ構築の下支えに取り組んでいる。

また、今後は大型車両に特化した整備事業への参入を計画。上記事業者に加え、運送業者へのサービス提供も行うことで、地域のインフラ構築に対し、間接的に貢献していくことを目指している。

2. インパクトの特定

(1) バリューチェーン分析

インパクトの特定のためバリューチェーン分析を行った。具体的な手法として、バリューチェーン(主活動・支援活動)における環境、社会、経済の三側面との関連性について、当社のサステナビリティ活動から分析を行った。

【バリューチェーンにおける環境・社会・経済との関連性】

分類		環境、社会、経済に影響を与える活動
主活動	営業・見積・受注	—
	仕入	—
	収集運搬	【環境】 ・環境に配慮した車両の導入
	施工 中間・最終処理 サービス提供	【環境】 ・コンクリートのメンテナンス業務による建物の長寿命化 ・アスベストの飛散防止による大気汚染の抑制 【経済】 ・地域インフラを構築する事業者へのサービス提供
	廃棄物処理 リサイクル品販売 最終処分委託 アフターサービス	【環境】 ・リサイクルによる廃棄物の削減、再資源化
支援活動	全般管理 人事管理 技術管理 IT 管理	【社会】 ・照明の LED 化 ・DX 推進によるペーパーレス化 ・従業員の働きがいにつながる取り組み ・ワーク・ライフ・バランスの推進 ・人材育成の取り組み ・従業員の健康に対する取り組み ・ダイバーシティの推進

【出典：熊谷解体工業へのヒアリングにより北洋銀行作成】

(2) インパクトレーダーによるマッピング

バリューチェーン分析に基づき特定したインパクトを整理することに加え、UNEP FI が提供するインパクトレーダーによるマッピングを行う。

バリューチェーンにおける事業を国際標準産業分類にて、当社の事業を「解体業(業種コード：4311)」、「非有害廃棄物収集業(業種コード：3811)」、「非有害廃棄物処理・処分業(業種コード：3821)」、「材料再生業(業種コード：3830)」、「道路貨物運送業(業種コード：4923)」、「自動車整備・修理業(業種コード：4520)」、川上の事業を「自動車販売業(業種コード：4510)」、「その他機械器具卸売業(業種コード：4659)」、「その他の機械器具・有形財賃貸・リース業(業種コード：7730)」、「非有害廃棄物処理・処分業(業種コード：3821)」と特定した。なお、川下となる産業廃棄物排出者の業種は多岐にわたることから特定していない。

マッピング手法は、UNEP FI のインパクトレーダーによるポジティブインパクト(PI)及びネガティブインパクト(NI)とバリューチェーン分析の結果により整理していく。

A. 当社の事業

当社の事業におけるインパクトについては以下の通りである。

- a. 低燃費車両の導入や LED 照明の入れ替えなどによる CO2 排出量の削減に取り組んでいることから、「気候の安定性」の NI 低減が期待される
- b. 建築物・工作物の解体時におけるアスベスト含有建材の調査や飛散防止に取り組んでいることから、「大気」の NI 低減が期待される
- c. 解体した建築物等から発生する産業廃棄物について適切な処理を行うとともに、再利用可能な資源物のリサイクルを推進していることから、「資源強度」、「廃棄物」の PI 増大が期待される
- d. DX の推進により事務所から発生する紙の廃棄物削減に取り組んでいることから、「資源強度」、「廃棄物」の NI 低減が期待される
- e. 担当業務の内容や資格の取得状況に応じた公平な人事考課、今後の給与水準の向上、積極的な人材育成などに取り組んでいくことから、「雇用」、「賃金」の PI 増大が期待される
- f. 従業員の健康管理や安全衛生委員会の実施など労働環境の改善に取り組んでいることから、「健康および安全性」の NI 低減が期待される
- g. 性別や年齢等、従業員全員が差別のない環境で生き生きと働けるような職場づくりを進めていることから、「その他の社会的弱者」の NI 低減が期待される
- h. 地域課題の解決に向け、地域事業者に対する運送および車両整備サービスの提供を行っていることから「移動手段」の PI 増大が期待される

なお、インパクトマッピングでは「水」、「エネルギー」、「健康と衛生」、「文化と伝統」、「零細・中小企業の繁栄」、「インフラ」、「水域」、「大気」、「土壌」、「生物種」、「生息地」への PI、「現代奴隷」、「自然災害」、「賃金」、「社会的保護」、「民族・人種平等」、「水域」、「土壌」、「生物種」、「生息地」への NI が抽出されているが、当社の事業により与える影響は限定的のため特定していない。

B. 川上の事業

川下の事業におけるインパクトについては以下の通りである。

- a. 当社がリサイクル事業を行うことで、産業廃棄物処分事業者が最終処分する廃棄物が減少することから、「資源強度」、「廃棄物」の NI 低減が期待される

なお、インパクトマッピングでは、「水」、「エネルギー」、「健康と衛生」、「移動手段」、「雇用」、「賃金」、「零細・中小企業の繁栄」、「インフラ」、「水域」、「大気」、「土壌」、「生物種」、「生息地」、「資源強度」、「廃棄物」への PI、「健康および安全性」、「賃金」、「社会的保護」、「気候の安定性」、「水域」、「大気」、「土壌」、「生物種」、「生息地」への NI が抽出されているが、当社の事業により与える影響は限定的のため特定していない。

■ 当社の事業が与えるインパクトのマッピング(UNEP FI インパクトレーダー)

下図によりマッピング内容を可視化した。インパクトカテゴリのうち、黄色塗りされた箇所はバリューチェーン分析により特定されたカテゴリである。また、各事業において想定される PI 及び NI をインパクトレーダーから抽出している。

【当社の事業】

バリューチェーン			当社の事業											
業種 (国際標準産業分類)			解体業		非有害廃棄物収集業		非有害廃棄物処理・処分業		材料再生業		道路貨物運送業		自動車整備・修理業	
【コード】			4311		3811		3821		3830		4923		4520	
三側面	インパクトエリア	インパクトトピック	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI
社会	人格と人の安全保障	紛争												
		現代奴隷		●●										
		児童労働												
		データプライバシー												
		自然災害		●●								●●		
	健康および安全性	-		●●		●●		●●		●●		●●		●●
		水			●		●							
		食糧												
		エネルギー					●							
		住居												
	資源とサービスの入手可能性、アクセス可能性、手頃さ、品質	健康と衛生			●●		●●		●●					
		教育												
		移動手段									●		●●	
		情報												
		コネクティビティ												
	生計	文化と伝統			●									
		ファイナンス												
		雇用	●		●		●		●		●		●	
		賃金	●	●●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		社会的保護		●		●	●	●	●	●		●		●
	平等と正義	ジェンダー平等												
		民族・人種平等		●●										
		年齢差別												
		その他の社会的弱者		●●										
社会経済	強固な制度、平和、安定	法の支配												
		市民的自由												
	健全な経済	セクターの多様性												
		零細・中小企業の繁栄	●		●		●		●		●		●	
	インフラ		●●											
自然環境	経済収束													
	気候の安定性			●●		●		●		●		●●		●
		水域		●	●●	●●	●●	●●	●●	●●		●●		
		大気		●	●●	●●	●●	●●	●●	●●		●●		
		土壌		●	●●		●●	●	●●			●●		
	生物多様性と生態系	生物種		●●	●●		●●	●	●●			●●		
		生息地		●●	●●		●●	●	●●			●●		
		資源強度		●●	●	●	●	●	●●	●		●●	●	
	サーキュラリティ	廃棄物		●●	●●	●	●●	●	●●	●		●●	●	●

●●：主要なカテゴリ、●：関連のあるカテゴリ
 黄色 PIの増大またはNIの低減に係る箇所

【川上の事業】

バリューチェーン			川上の事業							
業種 (国際標準産業分類)			自動車販売業		その他機械器具卸売業		その他の機械器具・有形財 賃貸・リース業		非有害廃棄物処理・処分業	
【コード】			4510		4659		7730		3821	
三側面	インパクトエリア	インパクトピック	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI
社会	人格と人の 安全保障	紛争								
		現代奴隷								
		児童労働								
		データプライバシー								
		自然災害								
	健康および安全性	-		●		●		●		●
		水							●	
	資源とサービスの 入手可能性、 アクセス可能性、 手頃さ、品質	食糧							●	
		エネルギー							●	
		住居								
		健康と衛生							●●	
		教育								
		移動手段	●●							
		情報								
		コネクティビティ								
		文化と伝統								
		ファイナンス								
	生計	雇用	●		●		●		●	
		賃金	●	●	●	●	●	●	●	●
		社会的保護		●		●		●		●
	平等と正義	ジェンダー平等								
		民族・人種平等								
		年齢差別								
		その他の社会的弱者								
社会経済	強固な制度、 平和、安定	法の支配								
		市民的自由								
	健全な経済	セクターの多様性								
		零細・中小企業の繁栄	●		●				●	
	インフラ				●		●			
自然環境	気候の安定性			●		●				●
	生物多様性と 生態系	水域				●			●●	●●
		大気		●		●			●●	●
		土壌							●●	●
		生物種				●		●●	●●	●
		生息地				●		●●	●●	●
	サーキュラリティ	資源強度		●			●		●	●
		廃棄物		●		●	●		●●	●●

●●：主要なカテゴリ、●：関連のあるカテゴリ

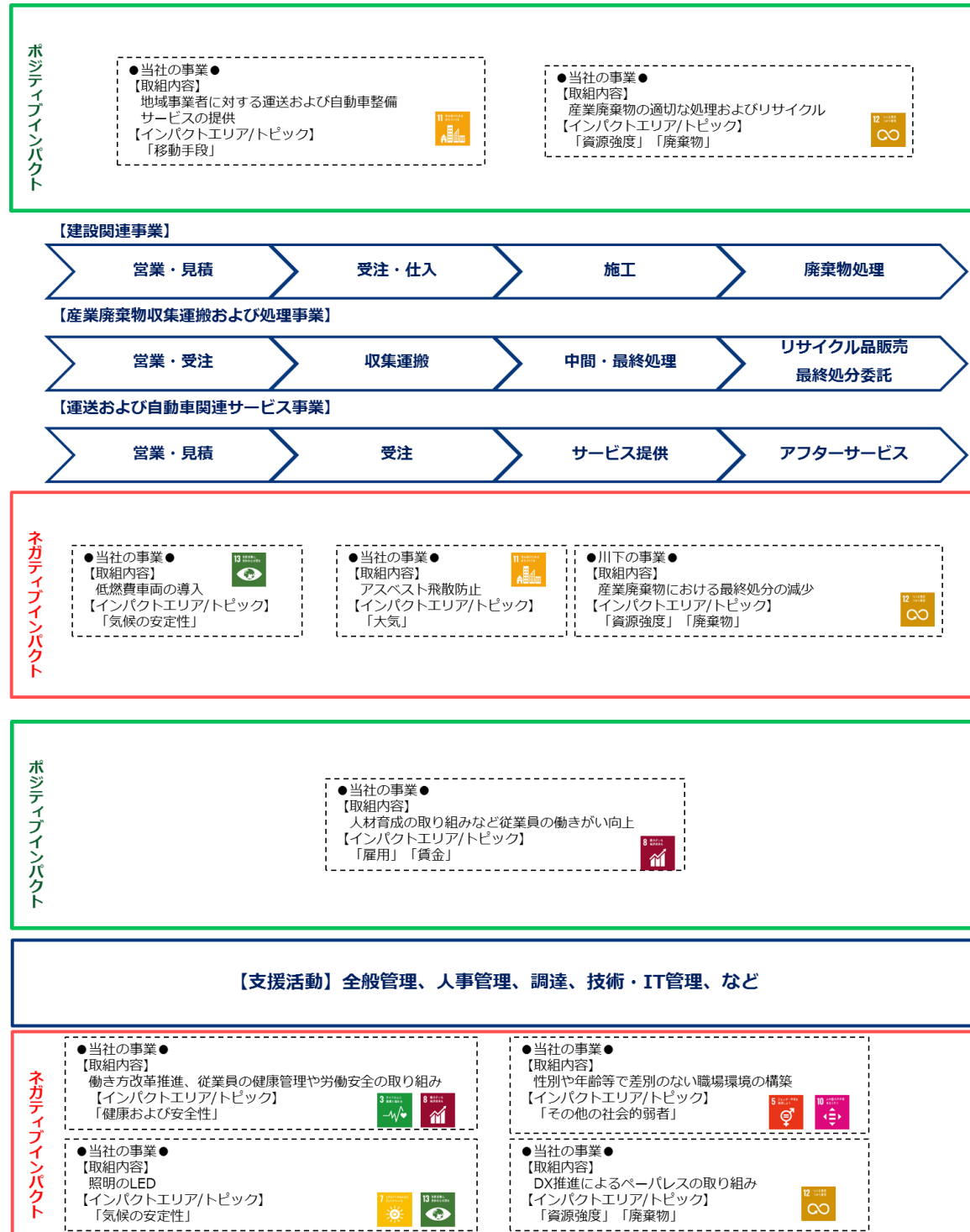
●●●：PIの増大またはNIの低減に係る箇所

(3)インパクトニーズの確認

A. インパクトカテゴリと SDGs 及びサステナビリティ経営方針との関連性

下図によりインパクトカテゴリと SDGs の関連性を以下の通り可視化した。バリューチェーン分析(サプライチェーン及び管理部門)とインパクトレーダーによるマッピングを通じ、取組内容を網羅的に整理している。

【サプライチェーンでのマッピング】

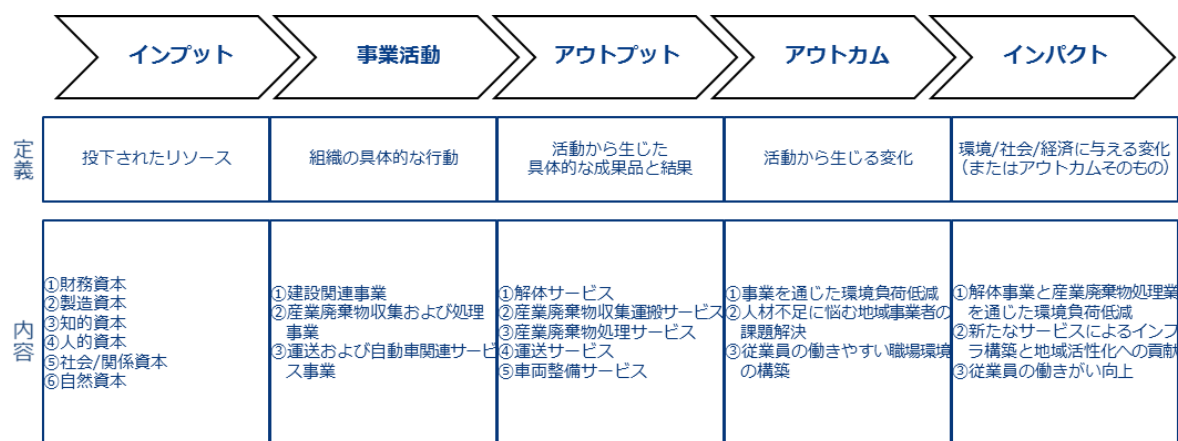


B. 熊谷解体工業のインパクト

以下ロジックモデルを基に、当社のインパクトを整理する。六つの資本(①財務、②製造、③知的、④人的、⑤社会・関係、⑥自然)の投下により事業を行い、アウトプットとして①解体サービス、②産業廃棄物収集運搬サービス、③産業廃棄物処理サービス、④運送サービス、⑤車両整備サービスを提供し、アウトカムとして①事業を通じた環境負荷低減、②人材不足に悩む地域事業者の課題解決、③従業員の働きやすい職場環境の構築、がもたらされた結果、インパクトとして、①解体事業と産業廃棄物処理業を通じた環境負荷低減、②新たなサービスによるインフラ構築と地域活性化への貢献、③従業員の働きがい向上、がもたらされる。

また、インパクトのうち、事業別の売上構成、ビジネスモデル及びインパクトレーダーによるマッピング結果から、より重要なものとしてコア・インパクトを特定する。

【ロジックモデルによる整理】



・インプットの内容(六つの資本)の概要

- ① 財務資本：安定したキャッシュフロー創出による経営資源への分配
- ② 製造資本：建設機械、運送車両、産業廃棄物処理施設
- ③ 知的資本：解体事業や環境調査、産業廃棄物処理、車両整備等に関するノウハウ
- ④ 人的資本：経験や技術を兼ね備えたプロフェッショナル人材
- ⑤ 社会/関係資本：取引先、自治体などのステークホルダー
- ⑥ 自然資本：エネルギーなどの自然資源

「1」解体事業と産業廃棄物処理業を通じた環境負荷低減：コア・インパクト

当社は建築物の解体から産業廃棄物の収集運搬・処理を一貫して行っている。事業過程において、アスベスト等による大気汚染の防止、産業廃棄物の適正な処理およびリサイクルの推進、CO2排出量の削減などの環境負荷低減をすすめている。

今後は、自社でのリサイクル製品の増産を進めるとともに、設備投資をすすめることで自社による環境負荷低減に一層取り組んでいくことから、コア・インパクトとして特定する。

「2」新たなサービスによるインフラ構築と地域活性化への貢献：コア・インパクト

厚生労働省 北海道労働局によると、2024 年度における北海道の有効求人倍率は 0.94 となっていたが、職業別でみると、「整備工・修理工」は 4.60 となっており、企業と求職者の間で職業別ミスマッチが発生している。

当社が位置する西胆振エリアにおいても、車両整備士が不足している。当社はこれまですすめてきた車両整備の内製化を事業化しサービス提供をすることで、地域課題の解決につなげ、インフラ構築と地域活性化への貢献を目指していることから、コア・インパクトとして特定する。

「3」従業員の働きがい向上

当社は、労働環境の整備による従業員の健康促進や多様性のある職場づくりなど、従業員の働きがい向上の実現にむけた取り組みを推進している。

今後も、従業員給与のベースアップ、人材育成など、従業員の働きがいの向上に取り組んでいくことから、インパクトとして特定する。

c. 日本におけるインパクトニーズ

下図は、「SDGs インデックス&ダッシュボード 2025」を参照したものであり、SDGs の17の目標別に日本の達成度を表している。「緑は目標達成」、「黄は課題が残っている」、「橙は重要な課題が残っている」、「赤は主要な課題が残っている」としている。

熊谷解体工業のインパクトに対する SDGs のゴールは「5,7,8,10,11,12,13」であり、日本のインパクトニーズに概ね整合していると判断できる。とりわけ「5,12,13」は主要な課題が残っているもの、「7,10,11」は重要な課題が残っているもの、「8」は課題が残っているものであり、特定されたインパクトは有意義であると判断できる。



○ : 熊谷解体工業のインパクトに関連するゴール

【出典：SDSN より】

D. 北海道におけるインパクトニーズ

当社の事業エリアである北海道では、「北海道 SDGs 未来都市計画」を策定しており、SDGs のゴールとそれに紐づく KPI を設定している。

(経済)

～北海道の価値と強みを活かした持続可能な経済成長～

ゴール、 ターゲット番号	KPI (目標年次が 2030 年でないものについては総合計画等から引用)
2.3	指標：農業産出額 現在(2022 年)：12,919億円 2030 年：13,600億円
8.1	指標：漁業生産額(漁業従業者 1 人当たり)
8.2	現在(2022 年)：1,479万円※
8.9	2032 年：1,370万円
9.1	※2022 年は目標を達成しているが、2019～21 年の平均は 990 万円であり、安定的な生産額の増加を目指している。
9.4	指標：漁業生産量
9.5	現在(2022 年)：120万トン
12.b	2032 年：150万トン
14.4	指標：道産木材の利用量 現在(2022 年)：445万㎡
14.4	2032 年：502万㎡
15.1	指標：森林面積(育成複層林) 現在(2022 年)：777千 ha
15.1	2032 年：854千 ha
	指標：観光消費額(道内客、道外客、外国人それぞれ1人当たり)
	現在(2022 年)：(道内客) 12,972円 (道外客) 81,182円 (外国人) — 円
	2032 年：(道内客) 15,000円以上 (道外客) 88,000円以上 (外国人) 210,000円以上
	指標：道外からの観光入込客数(うち外国人)
	現在(2023 年)：(道外客) 739万人 (うち外国人) 234万人
	2032 年：(道外客) 944万人以上 (うち外国人) 244万人以上
	指標：道内空港の国際線利用者数
	現在(2022 年)：93万人
	2032 年：410万人以上
	指標：デジタル関連企業の立地件数
	現在(2023 年)：27件
	2023～32 年度累計 260件

(社会)

～あらゆる人々が将来の安全・安心を実現できる社会の形成～

ゴール、 ターゲット番号	KPI (目標年次が 2030 年でないものについては総合計画等から引用)
1.3	指標：北海道福祉人材センターの支援による介護職の就業者数
1.4	現在(2022 年)：234人
1.4	2032 年：263人
3.8	指標：全道の医療施設に従事する医師数(人口 10 万人当たり)
	現在(2022 年)：254.0人
	2028 年：262.1人
5.1	指標：保育所入所待機児童数
	現在(2024 年)：28人
	2028 年：0人
8.5	指標：年間総労働時間(フルタイム労働者)
8.8	現在(2023 年)：1,929時間
10.2	2032 年：1,923時間
	指標：就業率
	現在(2023 年)：57.6%
	2032 年：各年において前年よりも上昇
11.b	指標：女性(25～34歳)の就業率
	現在(2023 年)：78.9%
	2028 年：82.5%
13.1	(全国平均値82.5%)
	指標：高齢者(65歳以上)の就業率
	現在(2023 年)：23.3%
	2033 年：25.2%
	(全国平均値25.2%)
	指標：障がい者の実雇用率
	現在(2023 年)：2.58%
	2033 年：法定雇用率以上
	指標：自主防災組織活動カバー率
	現在(2023 年)：75.6%
	2030 年：87.1%以上
	指標：避難情報の具体的な発令基準の策定状況
	現在(2023 年)：(水害)88.8% (土砂災害)88.6% (高潮災害)100% (津波災害)100%
	2029 年：100%
	指標：洪水ハザードマップを作成した市町村の割合
	現在(2023 年)：97.2%
	2029 年：100%

～Ⅱ 未来を担う人づくり～

ゴール、 ターゲット番号	KPI (目標年次が 2030 年でないものについては総合計画等から引用)
4.6	指標：全国学力・学習状況調査における小・中学校の国語、算数、数学の平均正答率が全国以上の教科数
4.7	現在(2024 年度)：0
4.7	2030 年度：4以上
	指標：児童生徒の体力・運動能力の状況(全国平均値を 50 とした場合の数値)
	現在(2023 年度)：(小学男子) 49.6 (小学女子) 49.4 ※小学校5年生 (中学男子) 48.2 (中学女子) 47.0 ※中学校2年生
	2029 年度：全国平均値以上(50以上)

～Ⅲ 持続可能で個性あふれる地域づくり～

ゴール、 ターゲット番号	KPI (目標年次が 2030 年でないものについては総合計画等から引用)
5.5	指標：広域連携制度活用地域数
	現在(2025 年)：16地域
	2029 年度：22地域
8.9	指標：「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感しない人の割合
	現在(2024 年度)：58.7%
	2027 年度：70.0%
10.2	指標：道外からの観光入込客数(うち外国人)
	現在(2023 年)：(道外客) 739万人 (うち外国人) 234万人
	2032 年：(道外客) 944万人以上 (うち外国人) 244万人以上
11.3	指標：「アイヌ民族が先住民族であること」の認知度
11.4	現在(2024 年度)：86.5%
17.17	2033 年度：100%

(環境)

～環境・エネルギー先進地「北海道」の実現～

ゴール、 ターゲット番号	KPI (目標年次が 2030 年でないものについては総合計画等から引用)
6.3	指標：環境基準達成率(水質汚濁)
	現在(2023 年度)：90.5%
	2029 年度：100%
7.2	指標：環境基準達成率(大気汚染)
	現在(2022 年度)：100%
	2028 年度：100%
11.6	指標：再生可能エネルギー導入量
	現在(2022 年度)：(発電分野(設備容量)) 463.2万kW (発電分野(発電電力量)) 11,907百万kWh (熱利用分野(熱量)) 15,426TJ
	2030 年度：(発電分野(設備容量)) 824万kW (発電分野(発電電力量)) 20,455百万kWh (熱利用分野(熱量)) 20,960TJ
12.5	指標：温室効果ガス実質排出量
	現在(2021 年度)：4,881万t -CO ₂
	2030 年度：3,788万t -CO ₂
13.3	指標：漁業生産量
	現在(2022 年)：120万トン
	2032 年：150万トン
14.2	指標：森林面積(育成複層林)
	現在(2022 年)：777千 ha
	2032 年：854千 ha

【出典：北海道「北海道 SDGs 未来都市計画(2025～2027)」】

北海道 SDGs 未来都市計画において、「2030 年のあるべき姿」の実現に向けた、特に優先的に取り組むべき課題が共有されている。加えて北海道総合政策部計画局推進課による「北海道 SDGs 推進ビジョン」においても北海道の課題が整理されている。今回特定したインパクトに対する SDGs のゴールは、これらとも概ね整合しており、北海道においても重要度が高いものと判断できる。

【2030 年のあるべき姿】

「世界の中で輝きつづける北海道」

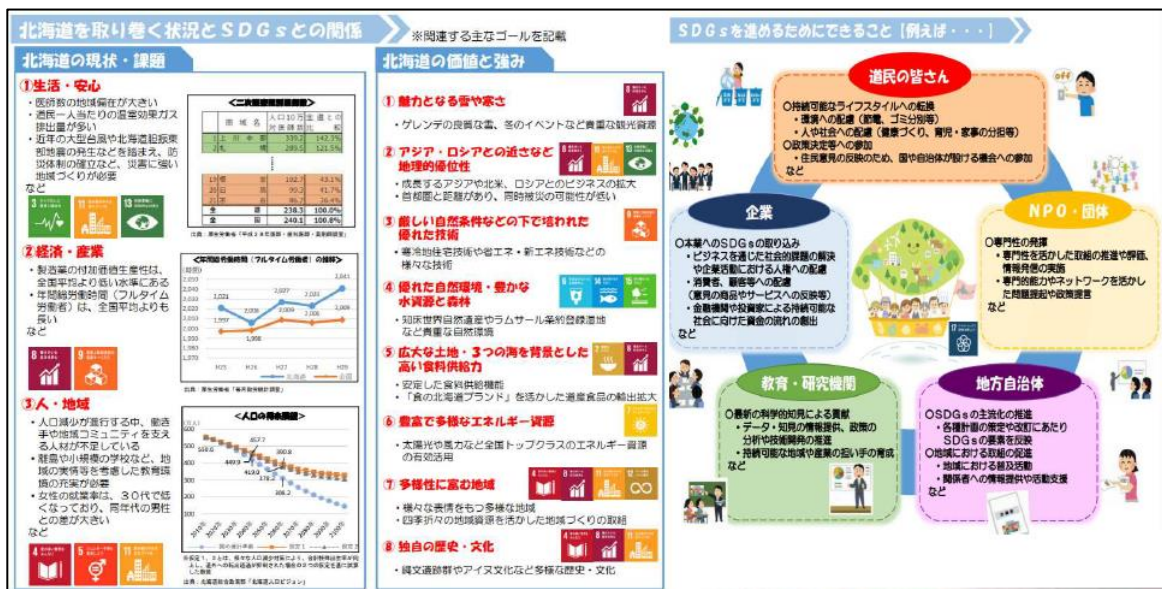
～ 世界に誇れる北海道の魅力を磨き、育て、様々な強みを活かし、SDGsの推進に積極的に取り組むことによって、「世界の中の北海道」としての存在感を高めながら、誰一人取り残さない、将来にわたって安心して心豊かに住み続けることができる地域社会を形成していく ～

＜北海道の優先課題＞

「2030 年のあるべき姿」の実現に向け、企業や団体、自治体など様々な主体が本道の課題や強みなどの実情に即して、特に優先的に取り組むべき課題を共有することが必要であるため、本計画においては、SDGs のゴール、ターゲットや国の SDGs 実施指針などを踏まえ、道として以下の「優先課題」を提示する。

- (経済) 北海道の価値と強みを活かした持続可能な経済成長
- (社会) あらゆる人々が将来の安全・安心を実感できる社会の形成
未来を担う人づくり
持続可能で個性あふれる地域づくり
- (環境) 環境・エネルギー先進地「北海道」の実現

【出典：北海道「北海道 SDGs 未来都市計画(2025～2027)」】

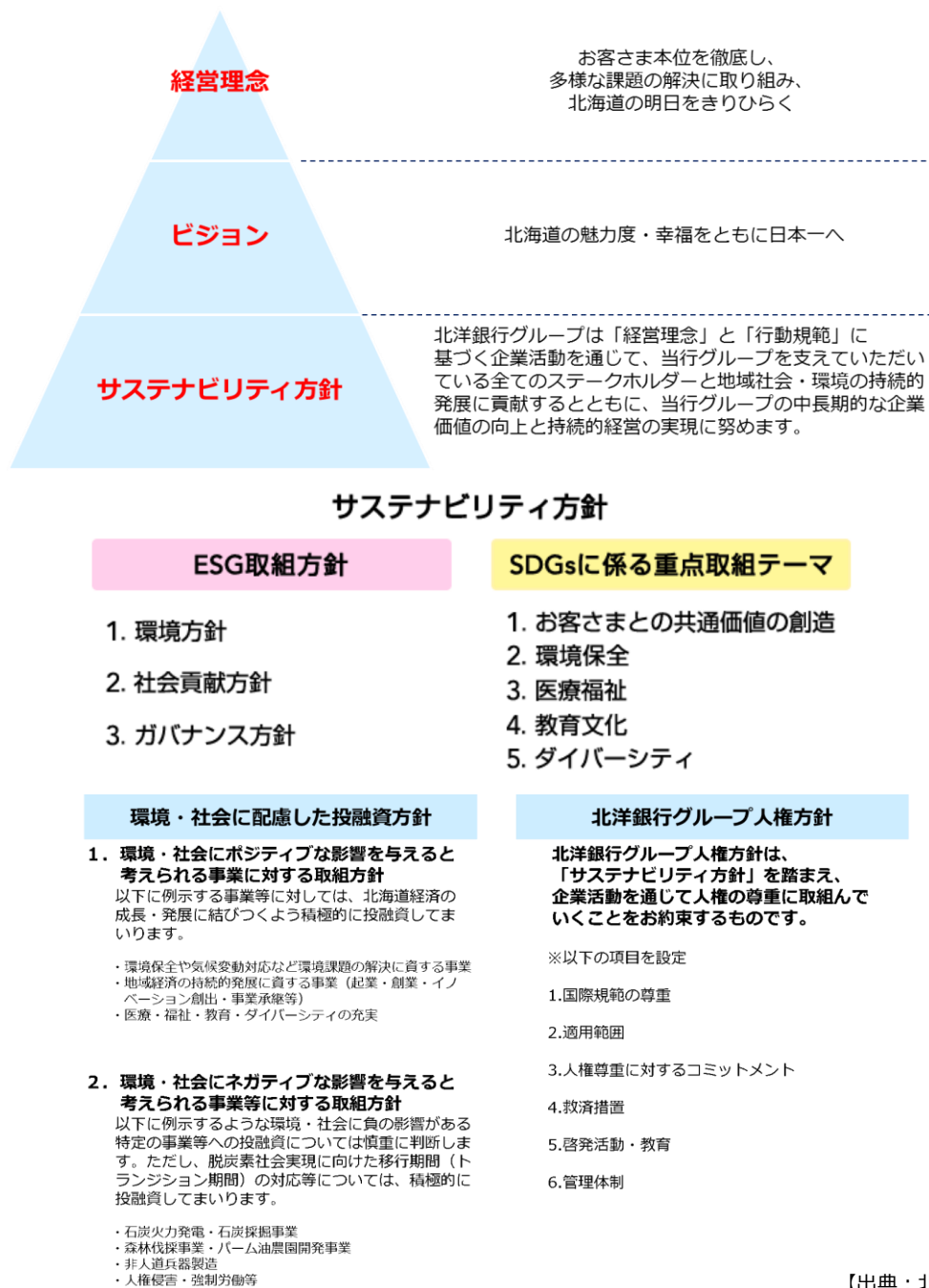


【出典：北海道総合政策部計画局推進課「北海道 SDGs 推進ビジョン」】

(4) 当行が認識する社会課題との整合性

北洋銀行グループは、「お客さま本位を徹底し、多様な課題の解決に取り組み、北海道の明日をきりひらく」という経営理念と行動規範に基づく企業活動を通じて、全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めることをサステナビリティ方針として掲げている。

本評価書で特定した当社のインパクトは、北洋銀行のサステナビリティ方針と全体的に整合的である。とりわけ、ESG 取組方針の「1. 環境方針」、「2. 社会貢献方針」、SDGs に係る重点テーマの「1. お客さまとの共通価値の創造」、「2. 環境保全」、「5. ダイバーシティ」及び環境・社会に配慮した投融資方針の「1. 環境・社会にポジティブな影響を与えると考えられる事業に対する取組方針」に整合している。



3. インパクトの評価

特定されたインパクトに対し、インパクトの種類(PI(ポジティブインパクト)の創出可能性、NI(ネガティブインパクト)の低減・管理)、インパクトカテゴリ、関連する SDGs、内容・対応方針及び目標と KPI を整理する。

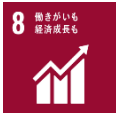
A. 解体事業と産業廃棄物処理業を通じた環境負荷低減：コア・インパクト

インパクトの種類	環境的側面において PI を増大 環境的側面において NI を低減																		
インパクトエリア・トピック	PI：「サーキュラリティ(資源強度、廃棄物)」 NI：「気候の安定性」、「生物多様性と生態系(大気)」「サーキュラリティ(資源強度、廃棄物)」																		
関連する SDGs	7 エネジーをみんなに そしてクリーンに 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 具体的な対策を																		
取組内容	① 産業廃棄物のリサイクル強化 ② 営業車両の HV 化 ③ LED 化の推進による CO2 排出量の削減 ④ DX 推進によるペーパーレス化の取り組み																		
目標と KPI	① 2032 年 3 月期までに産業廃棄物中間処理施設で以下の通り再資源化・リサイクルを実行する <table><tr><th rowspan="2">廃棄物</th><th rowspan="2">再生製品</th><th>実績</th><th>目標</th></tr><tr><th>(2025 年 3 月末)</th><th>(2032 年 3 月末)</th></tr><tr><td>廃木材</td><td>薪</td><td>1t/年度</td><td>2t/年度</td></tr><tr><td>廃木材</td><td>木材チップ</td><td>1,300t/年度</td><td>1,500t/年度</td></tr><tr><td>コンクリートがら</td><td>再生骨材</td><td>46,000t/年度</td><td>50,000t/年度</td></tr></table> ② 2031 年 3 月期までに営業車両の HV 化をすすめる (2025 年 3 月期実績：0/10 台) ③ 2028 年 3 月期までに目途に蛍光灯を廃止し、順次 LED 化を進める (2025 年 3 月期実績：LED ライト本数 50 本) ④ 2032 年 3 月期までに紙の購入枚数を 20%削減する(2024 年 3 月期対比) (2025 年 3 月期実績：10 万枚)	廃棄物	再生製品	実績	目標	(2025 年 3 月末)	(2032 年 3 月末)	廃木材	薪	1t/年度	2t/年度	廃木材	木材チップ	1,300t/年度	1,500t/年度	コンクリートがら	再生骨材	46,000t/年度	50,000t/年度
廃棄物	再生製品			実績	目標														
		(2025 年 3 月末)	(2032 年 3 月末)																
廃木材	薪	1t/年度	2t/年度																
廃木材	木材チップ	1,300t/年度	1,500t/年度																
コンクリートがら	再生骨材	46,000t/年度	50,000t/年度																

B. 新たなサービスによるインフラ構築と地域活性化への貢献：コア・インパクト

インパクトの種類	社会的側面において PI を増大
インパクトエリア・トピック	PI：「資源とサービスの入手可能性、アクセス可能性、手頃さ、品質(移動手段)」
関連する SDGs	
取組内容	① 車両整備サービス提供による地域事業者の課題解決
目標と KPI	① 2026 年 3 月期までに取引先への車両整備サービス提供を開始し、2030 年 3 月期までに売上高 50 百万円にする

C. 従業員の働きがい向上

インパクトの種類	社会的側面において PI を増大 社会的側面において NI を低減
インパクトエリア・トピック	PI:「生計(雇用、賃金)」 NI:「健康および安全性」、「平等と正義(その他の社会的弱者)」
関連する SDGs	  
取組内容	① 賃金のベースアップによる働きがい向上 ② 有給休暇取得促進や時間外労働の削減を通じたワーク・ライフ・バランス向上 ③ 多様性のある職場の形成 ④ 従業員の資格取得支援による人材育成の強化
目標と KPI	① 2032 年 3 月期までに一人当たりの平均給与を 10%増加させる(2025 年 3 月期対比) ② (a)2032 年 3 月期までに全社員の平均有給休暇取得率を 60%にする (2025 年 3 月期実績：55%) (b)2032 年 3 月期までに全社員の月間平均残業時間を 1 時間/月にする (2025 年 3 月期実績：2 時間/月) ③ (a)2032 年 3 月期までに女性従業員数を 10 名にする (2025 年 3 月期実績：3 名) (b)2032 年 3 月期までに役職者に占める女性の割合を 30%にする (2025 年 3 月期実績：10%) (c)2032 年 3 月期までに外国籍従業員の雇用を 6 人にする (2025 年 3 月期実績：2 人) (d)2032 年 3 月期までにシニア層(60 歳以上)の従業員数を 25 人にする (2025 年 3 月期実績：20 人) (e)2032 年 3 月期までに地域人材を 20 人採用する (2025 年 3 月期実績：12 人) ④ 2032 年 3 月期までに有資格者数(延べ人数)を 30 人に増加させる (2025 年 3 月期実績：23 人)

4. インパクトのモニタリング

当社は、代表取締役を最高責任者として主要事業の棚卸を行い、インパクトの特定、取組内容・対応方針や目標・KPIを設定した。

本件で設定した目標・KPIの進捗状況については、当社と北洋銀行営業店及びソリューション部が少なくとも年に1回は定期的に情報共有を行い、北洋銀行がその達成状況や課題をモニタリングするとともに、必要に応じて課題解決に向けた提案を行う。

5. 情報開示

モニタリング関連の情報開示は、北洋銀行および株式会社北海道共創パートナーズが定める「コミュニケーションサポートシート」もしくはその内容に準拠するものを活用し、北洋銀行または株式会社北海道共創パートナーズのホームページにて行うこととする。

以 上

留意事項

1. 本評価書の内容は、北洋銀行ならびに株式会社北海道共創パートナーズが現時点で入手可能な公開情報に加え、熊谷解体工業から提供された情報や当社への事業に関するヒアリングを通じて収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、将来における実現可能性、ポジティブ要素の成果及びネガティブ要素の抑制等を保証するものではありません。
2. 本評価を作成するために活用した情報は、北洋銀行ならびに株式会社北海道共創パートナーズがその裁量により信頼できると判断したものではあるものの、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。北洋銀行ならびに株式会社北海道共創パートナーズは、これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性及び特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明または保証するものではありません。
3. 本評価書に関する一切の権利は北洋銀行ならびに株式会社北海道共創パートナーズに帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。